

# 決算のあらまし



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

## 下水道事業

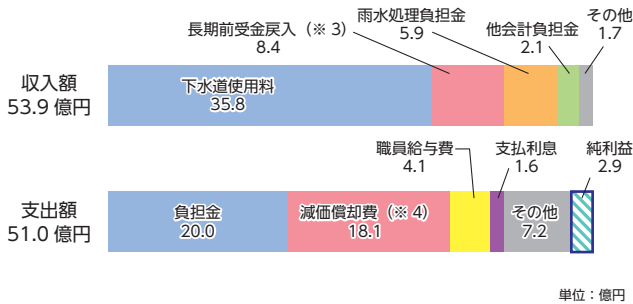
令和6年度の下水道事業は、16万2,625戸から排出された汚水3,486万9,922m<sup>3</sup>を処理しました。行政人口に対する下水道の普及率は98.3%で、処理区域内の接続率は97.1%となっています。また、建設工事については、管渠総延長1,469.5mの工事を行い汚水処理未普及地区の解消や浸水対策等に努めています。

### 収益的収支 ※1 (税抜き)

総事業収益53.9億円に対して、総事業費用51.0億円となり、純利益2.9億円を計上しています。

収益的収入は、下水道使用料が35.8億円、長期前受金戻入 ※3 が8.4億円、雨水処理負担金が5.9億円、他会計負担金が2.1億円等となっています。

収益的支出は、流域で下水道を処理する負担金が20.0億円、減価償却費 ※4 が18.1億円、職員給与費が4.1億円、支払利息が1.6億円等となっています。

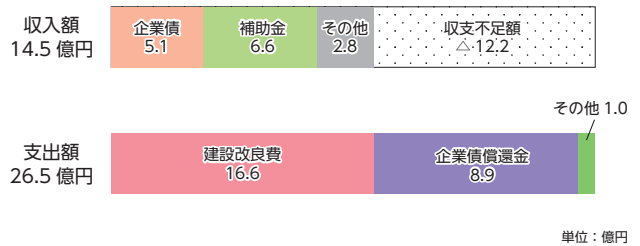


### 資本的収支 ※2 (税込み)

資本的収入14.5億円に対して、資本的支出26.5億円となっています。不足分は、減価償却費などで企業の内部に留保された資金で補っています。

資本的収入は、企業債が5.1億円、補助金が6.6億円等となっています。(このうち0.2億円は、翌年度へ繰越す支出の財源に充当する額となっています。)

資本的支出は、建設改良費が16.6億円、企業債償還金が8.9億円等となっています。

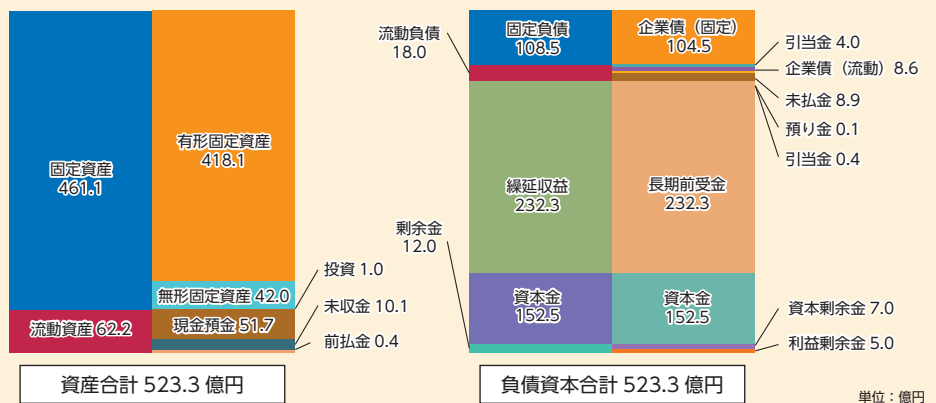


### 貸借対照表 ※5

令和7年3月31日時点の下水道事業の財政状態は次のとおりです。

資産は、下水道施設等の有形固定資産が418.1億円、下水道施設の更新財源等となる現金預金が51.7億円等となっています。

負債及び資本は、資産を取得する際の調達源泉を示しており、償却資産の取得又は改良に充てた補助金等である長期前受金が232.3億円、企業債が113.1億円等となっています。



### 利益の処分 ※6

令和6年度に生じた純利益2.9億円を減債積立金に積み立てることを市議会へ提案し、令和7年10月に議決を得ました。

#### ※4 減価償却費

償却資産の価値の減少分を費用として計上します。現金支出を伴わない費用で、損益勘定留保資金として企業の内部に留保され資本的支出の財源となります。

#### ※5 貸借対照表

企業の財政状態を明らかにするため、一定の時点において当該企業が保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示した報告書で、バランスシートともいいます。

#### ※6 利益の処分

毎事業年度に生じた利益の使い道を定めることです。処分は条例で定める方法によるほか、議会の議決を経て行われます。

【お問い合わせ】 企画経営課 TEL: 941-7803 FAX: 941-7821